



秋田県立 能代支援学校教育プラン

I 学校の現状と課題・学校を取り巻く将来の状況の予測

1 現状

本校は、知的障害を有する児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校であり、平成6年4月に開校した。

現在の児童生徒数は、小学部20名、中学部31名、高等部42名の計93名が在籍している。また、地域外から通う児童生徒のために寄宿舎を設置しており、24名の児童生徒が利用している。

校地面積は69,082㎡と全国4位の広さである。この広大な敷地を利用して、稲作、野菜、果樹、園芸などの作業学習に力を入れている。また、平成27年より5年計画で「森の中の学校プロジェクト」に取り組み、校地内にブナやコナラ等毎年250本の植樹をしていく予定である。

児童生徒の充実した日々の生活づくりを基盤にして、個々の発達に合わせて地域資源の活用を進めている。平成28年度のスタートに当たって、能代市教育委員会と協働で作成した「居住地校交流ガイドブック」を市内の小・中学校に配付した。このガイドブックには、平成27年度の小・中学部における居住地校交流や学校間交流の実践をまとめている。また、地域の施設での高等部生によるミュージカル公演や校内での全校行事「しのめ夏祭り」は開校の翌年から毎年実施し、多くの地域の方でにぎわっている。

さらに、介護職員初任者研修をカリキュラムに位置付け、今まで4名が介護施設への一般就職を決め、介護業務での勤務をしている。

平成27年度から、文部科学省委託特別支援教育に関する実践研究充実事業「特別支援教育に関する教育課程の編成等についての実践研究」に取り組み、自立と社会参加に繋がる教育課程の編成と実施に努めている。

2 将来の状況の予測と課題

- (1) 自立と社会参加に繋がる教育課程編成の仕組みに基づいた実践の定着
- (2) 地域資源の有効な活用と地域貢献活動の充実
- (3) 「交流及び共同学習」における活動内容の充実と居住地校交流の拡充

II 目指す方向性・学校像や幼児児童生徒の姿

1 目指す方向性

- (1) 「この子らは世の光なり」を心として、子ども一人一人の尊厳を重んじ、愛情に満ちた教育を推進します。
- (2) 子どもたちの日々生き生きとした生活づくりを目指し、共に生きがいのある教育を推進します。
- (3) 心豊かで、互いに愛と信頼で結ばれ、内外に開かれた教育を推進します。

2 学校像と児童生徒の姿

「拓く」 (時代を拓く 教育を開く 子どもの心をひらく)

○ 目指す学校像

- (1) 一人一人のニーズに最適な教育を追求し、新しい時代を拓く学校を目指します。
- (2) 地域と共に歩み、地域に貢献する学校づくりを推進します。
- (3) 子どもたちが考えや心を外に開いていく教育を実践します。

○ 目指す児童生徒像

明るく元気な子、仲良く助け合う子、喜んで働く子

Ⅲ 具体的な目標・取組・推進指標

重点目標 人権・共生・インクルーシブ教育

目標1 充実した日々の学校生活づくり

- <小学部> 学部内の異学年集団による生活単元学習の実施
交流及び共同学習の充実（学校間交流、居住地校交流は希望者 100%実施）
- <中学部> 生徒が表現する意欲を高め、共に関わり合う力を高める教育実践
地域に元気を届ける教育実践の充実 交流及び共同学習の実施先の拡大
- <高等部> 生徒の表現する力を高め、地域の一員として地域貢献できる活動の充実
ミュージカルの成功 地域資源を活用した生活単元学習の実施
交流及び共同学習の充実 進路相談や進路指導の充実
- <寄宿舎> 仲間を思いやり協力し合う力を高める生活指導の実践
集団生活の決まりを守り役割を果たすことで自主性を育てる生活指導の実践

- (1) 多様な体験と他の教科・領域の学習との関連を図った学習活動の充実
- (2) 一人一人の願いを実現するための小・中・高の系統的・計画的な進路指導の実施
 - ・就職を希望する生徒の就労率100%の実現
 - ・生徒の良いところや可能性を伸ばし、適性に応じた進路選択・進路決定を推進
- (3) 児童生徒が目標をもって主体的に取り組もうとする気持ちを高める指導の工夫
（地域の人材や資源の活用、iPadの活用、各種大会やコンクールへの挑戦、職業フェスティバルへの参加、ビジネス文書実務検定試験・漢字検定の実施）
- (4) 児童生徒の規範意識を高める教育実践の工夫
- (5) 児童生徒のICT活用の推進と保護者との連携による情報モラルの育成（インターネットセキュリティ等）
- (6) 健康・安全に関する指導の強化（保健指導、食に関する指導等）

目標2 地域に貢献する教育活動の推進

- (1) 地域の資源を活用した環境緑化教育「森の中の学校プロジェクト」の推進
- (2) 交流及び共同学習の拡充
 - ・居住地校交流や学校間交流の交流先の拡大・地域交流の交流内容の充実
 - ・地域内の高校との連携及び交流の推進（能代西高校、能代工業高校等）
- (3) 地域の人材や地域資源を活用し、地域とのつながりを深める教育活動の推進
 - ・地域のイベント活動等におけるスタッフやボランティアとしての協力
 - ・花壇の定植と中学部や高等部の花いっぱい運動の継続
 - ・地域での販売活動の充実
- (4) 特色ある教育実践について地域への周知
ミュージカル公演 しなのめ夏祭り 木曜カフェ 能代ウインターカップ
「森の中の学校プロジェクト」の取組
- (5) 地域交流や学校行事等のPR活動を工夫し、地域の方の理解を推進
 - ・地域学校展や行事への参加依頼
 - ・教育活動の紹介の工夫（学校HP、メルマガ会員の募集、学校後援会活動の紹介、配布資料等）

目標3 地域における特別支援教育の推進

- (1) 新聞掲載や学校HPによる学校の教育活動の紹介
- (2) 全校種からの依頼に応じるセンター的機能の推進（交流及び共同学習のガイドブックの活用）
- (3) 特別支援教育に関する研修会等の実施